

# がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

## 相談記録シート集計報告

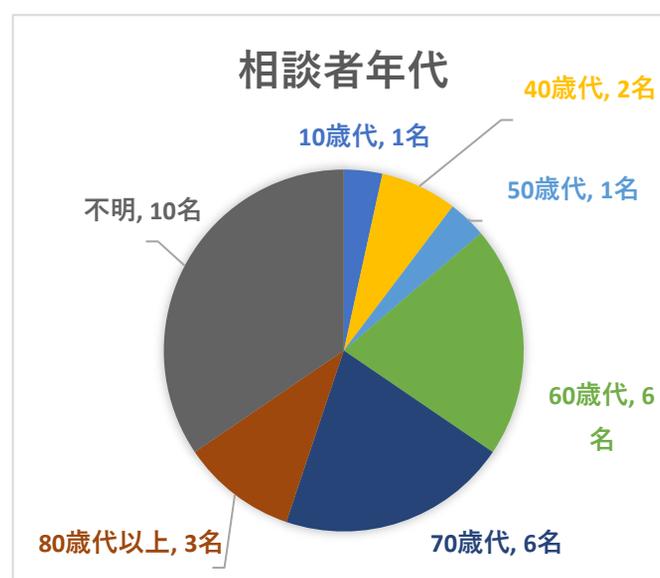
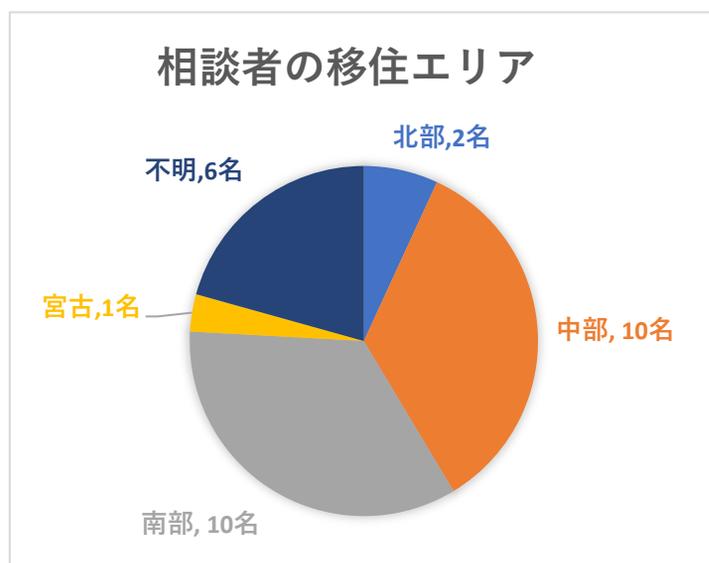
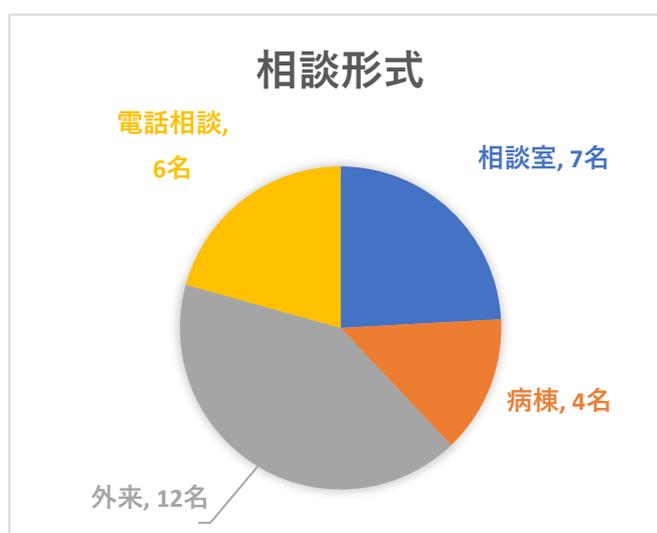
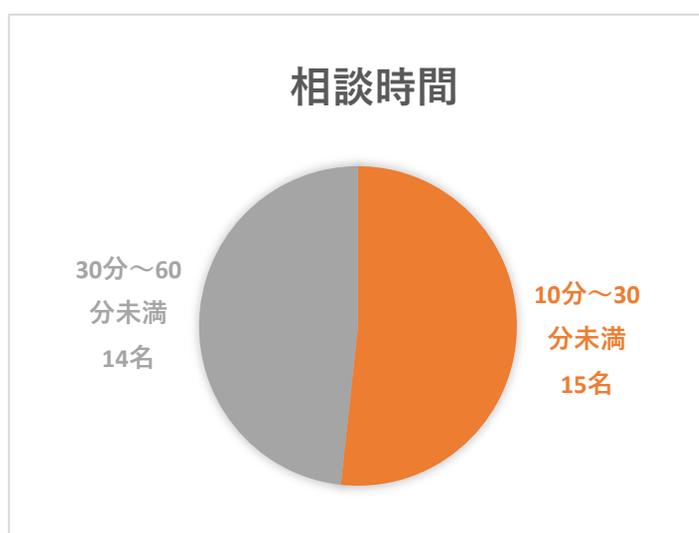
実施期間：令和5年10月1日～令和5年12月28日

沖縄県地域統括相談支援センター

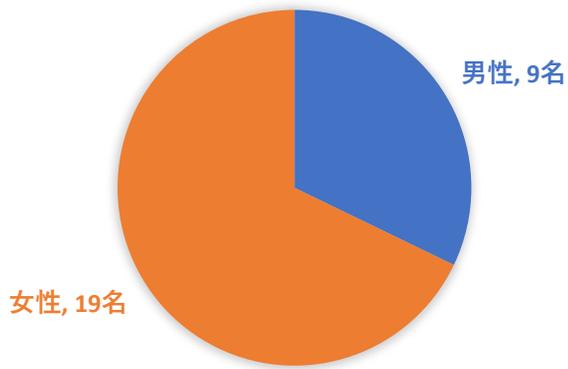
## がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

- 調査対象期間 令和5年10月1日～令和5年12月28日
- 調査件数 29件

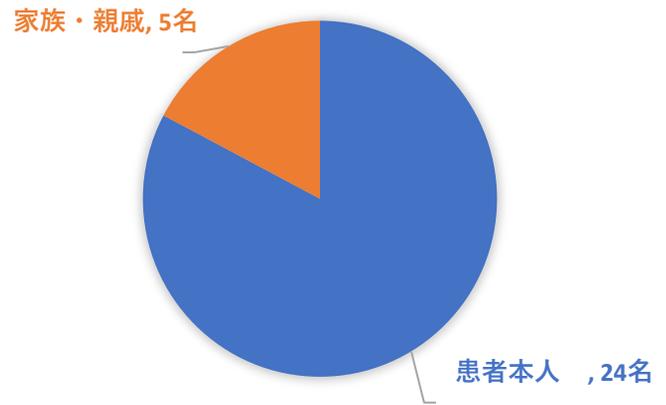
相談月	件数
10月	10
11月	8
12月	11
合計	29



### 相談者の性別



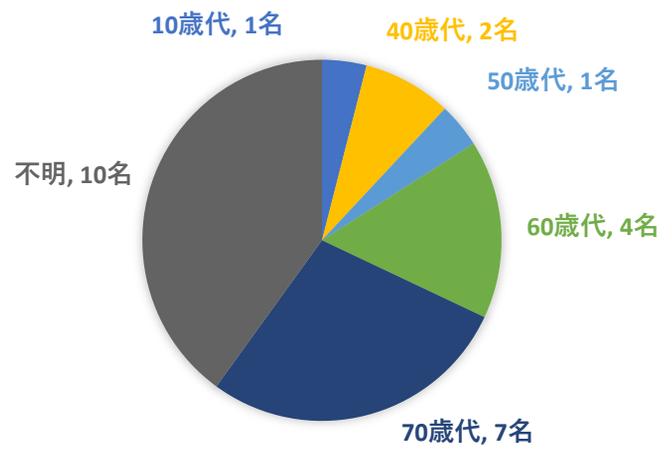
### 相談者のカテゴリー



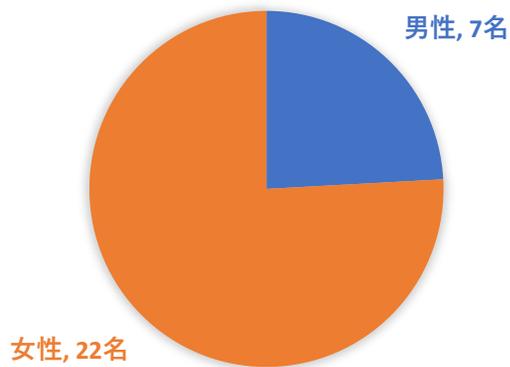
### 相談者の利用回数



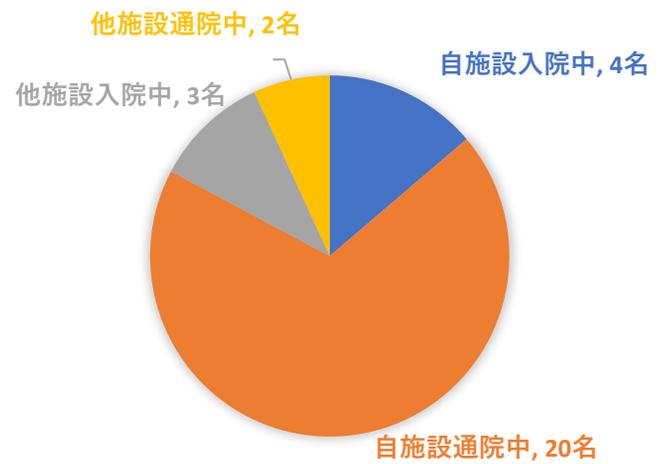
### 患者本人の年代



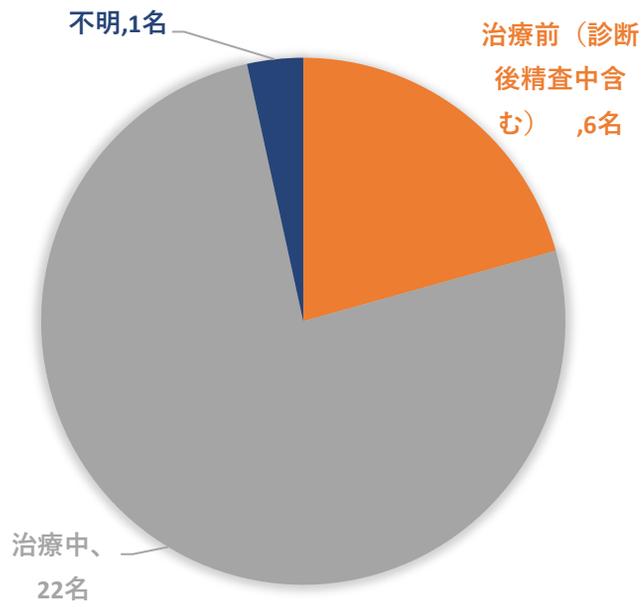
### 患者本人の性別



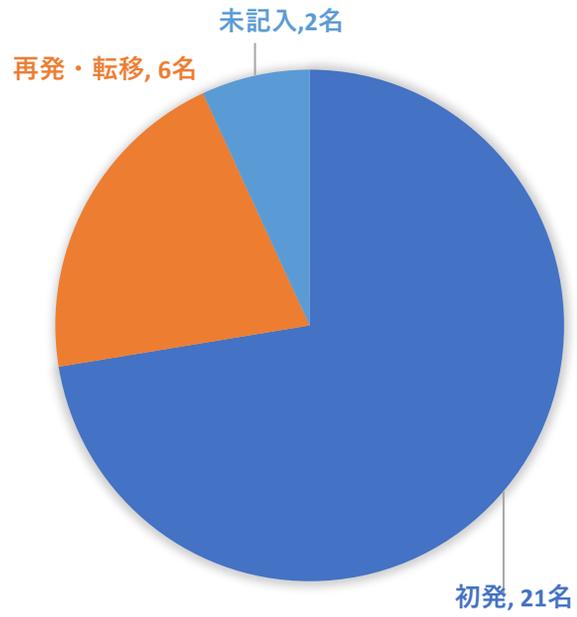
### 受診状況



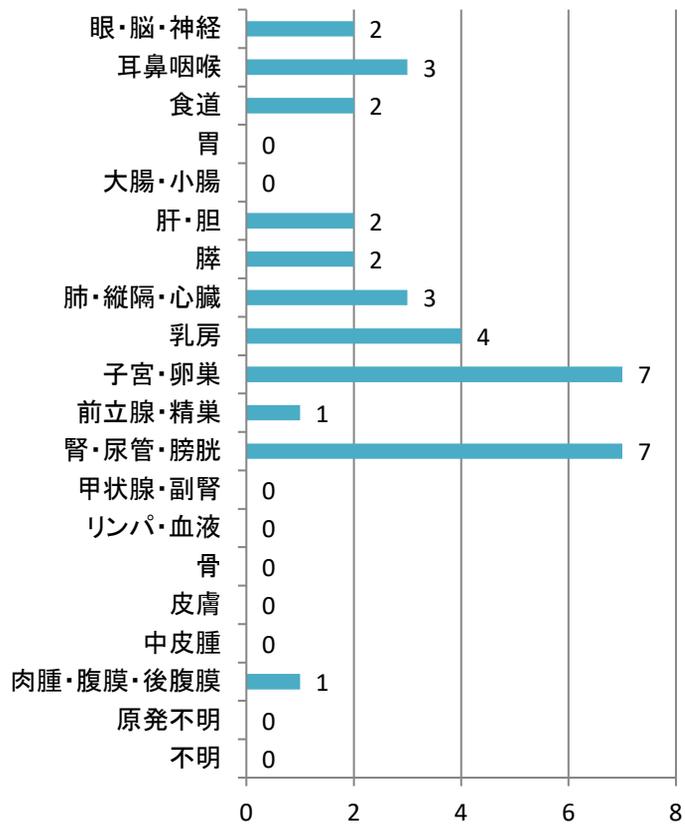
### 現在の治療状況



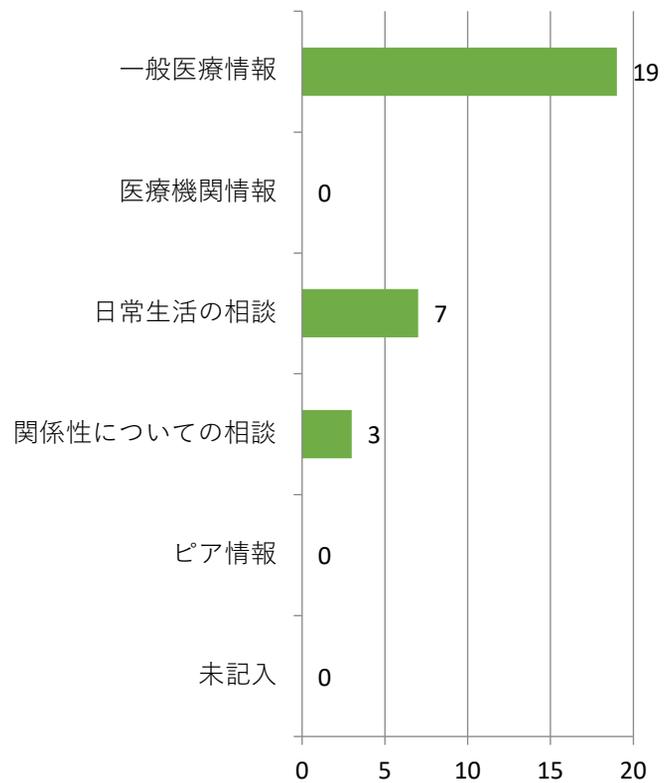
### がんの状況



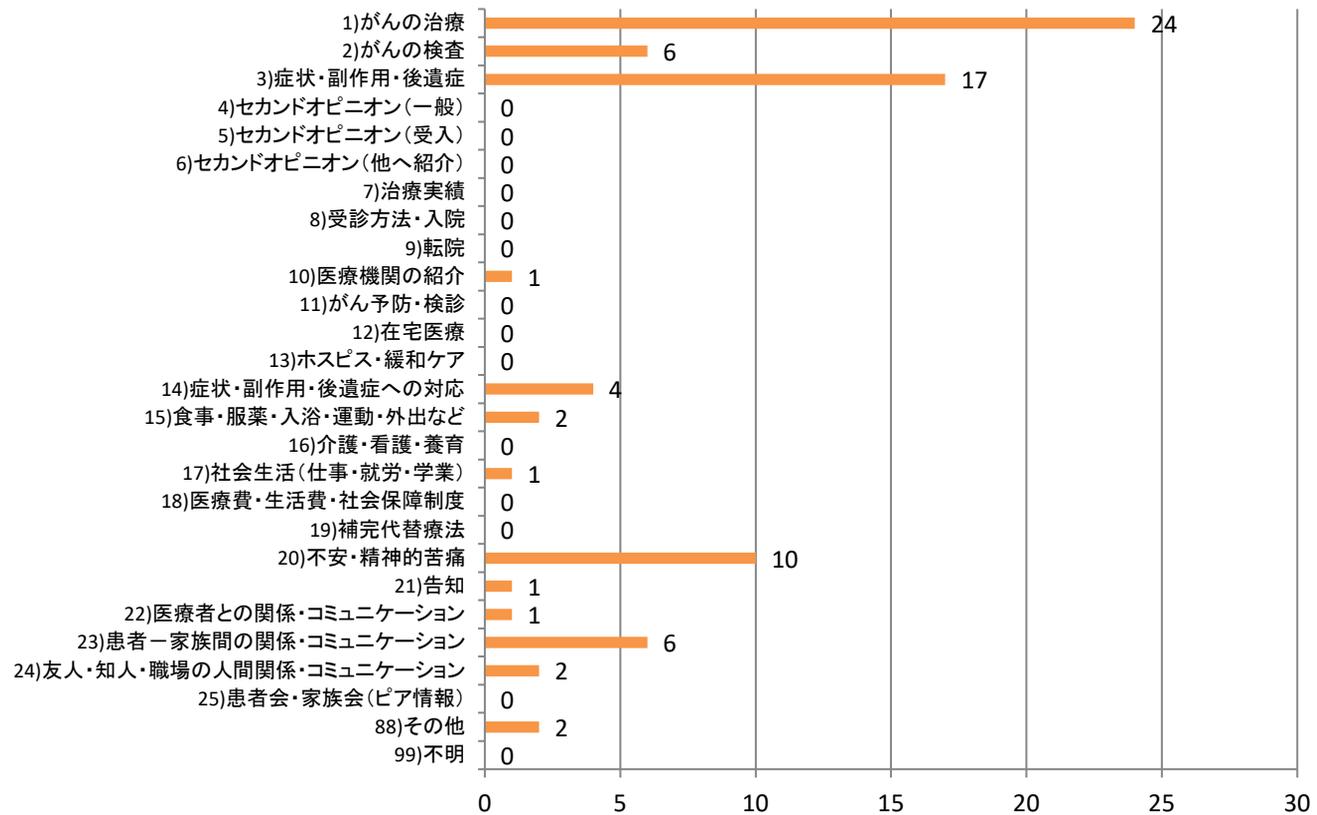
### がんの部位



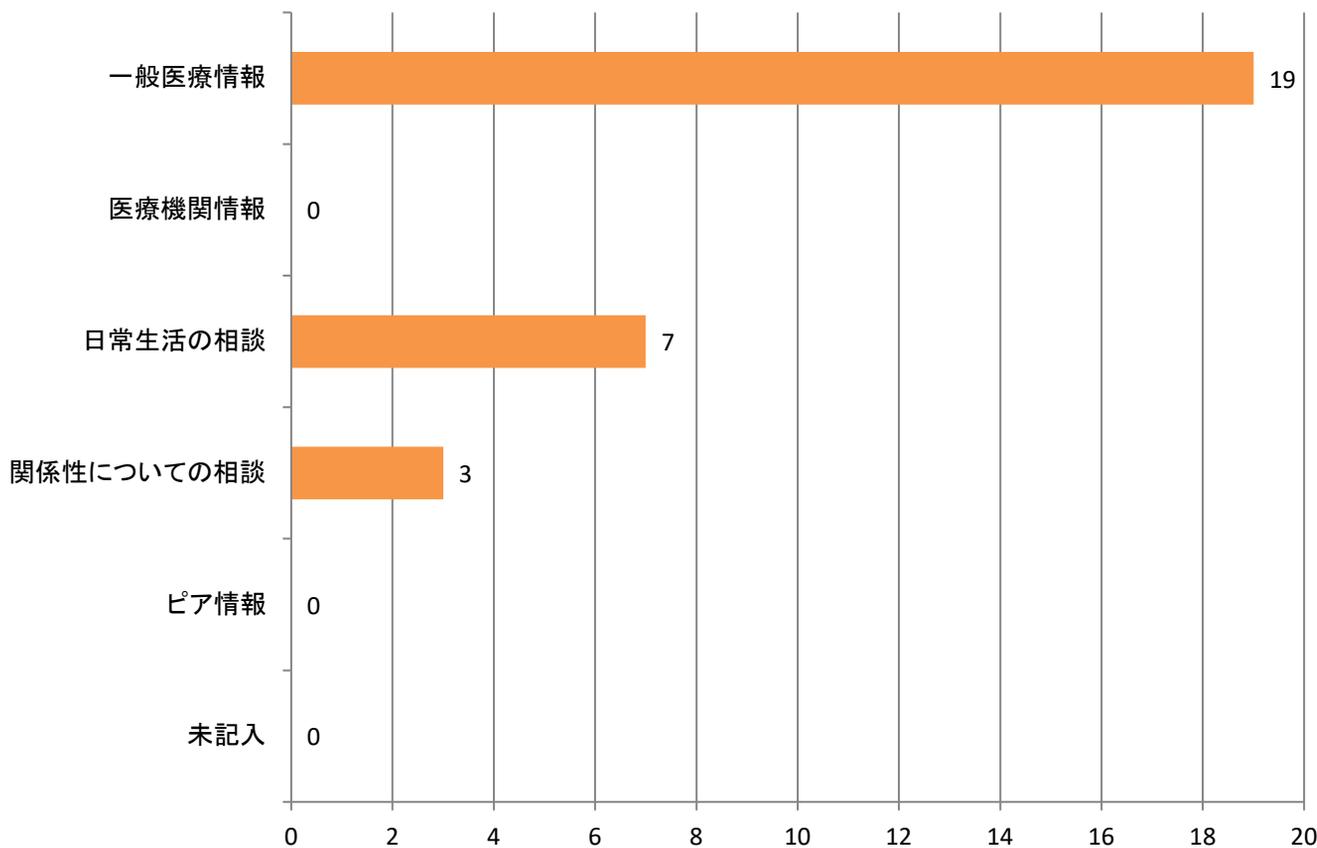
### 相談内容 (実施したものすべて・大項目別)



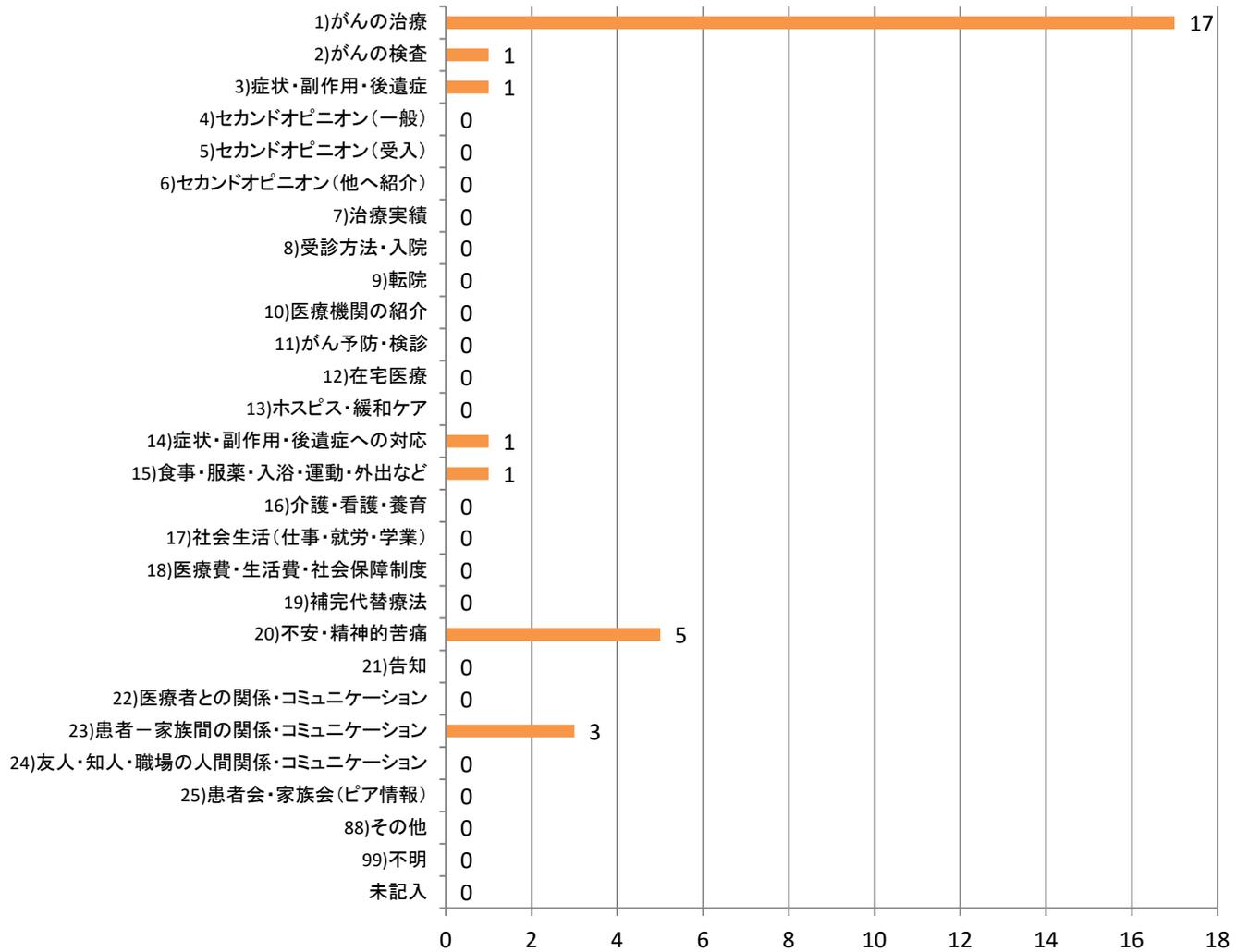
## 相談内容(実施したものすべて)



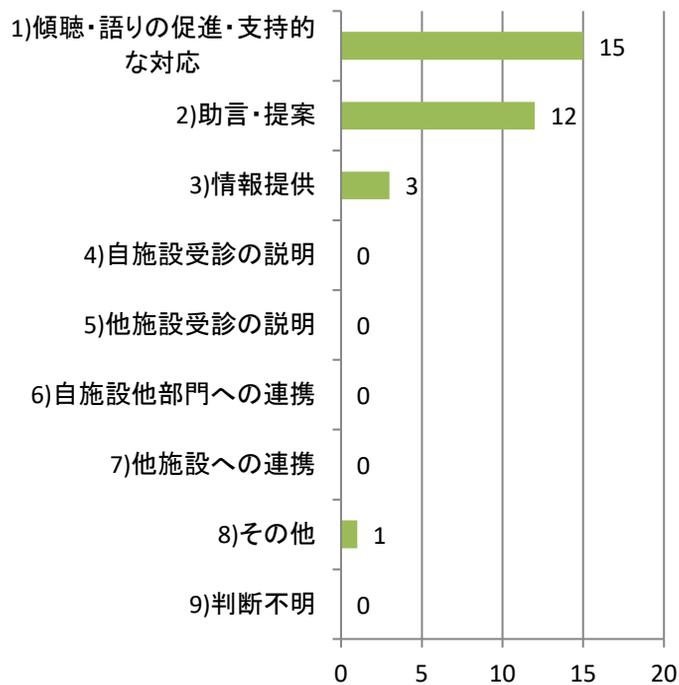
## 相談内容(最も比重の高いもの・大項目別)



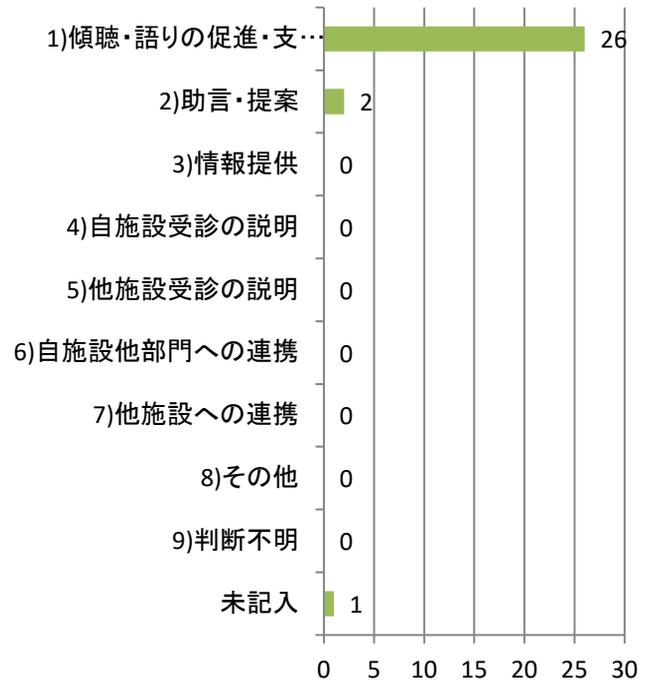
## 相談内容(最も比重の高いもの)



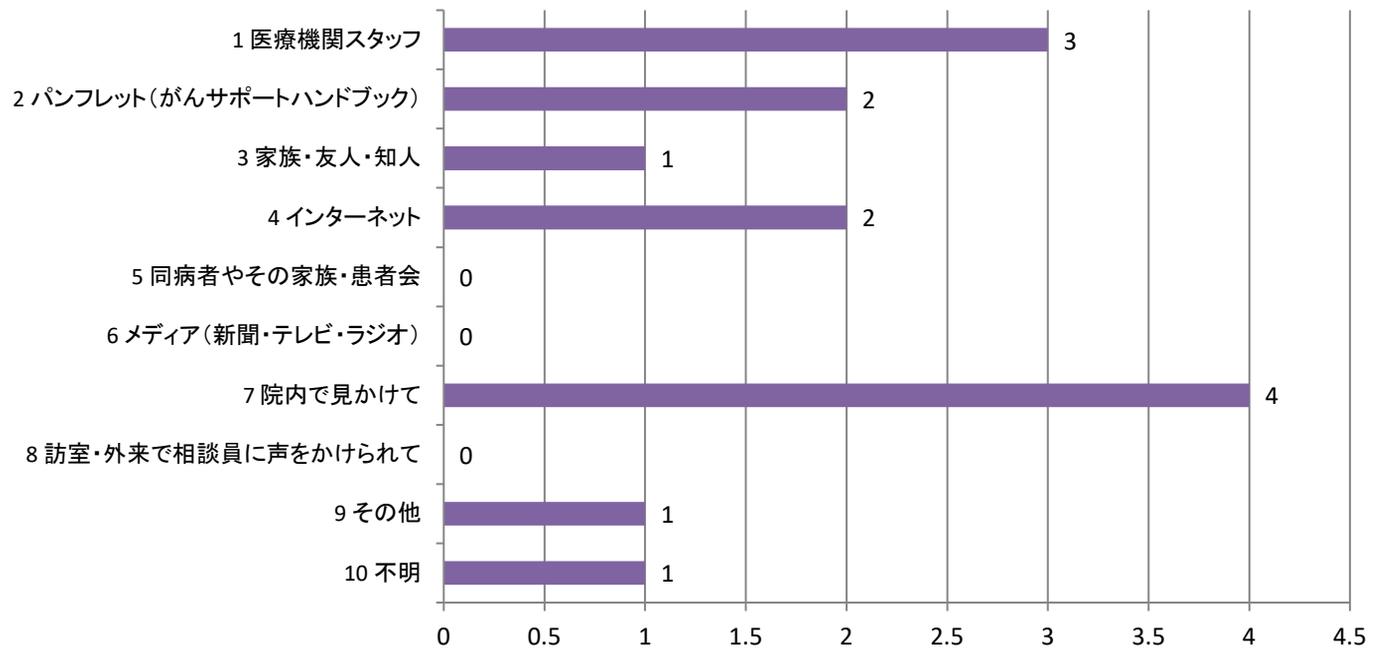
## 対応内容(実施したものすべて)



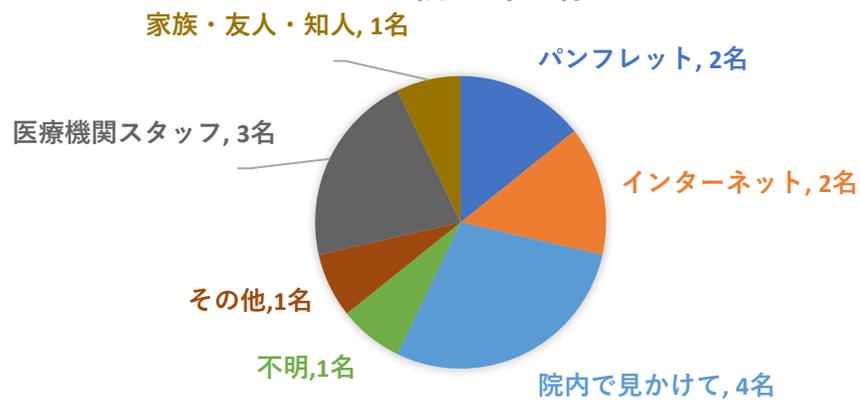
## 対応内容(最も比重の高いもの)



### 認知経路



### 認知経路



令和5年度 沖縄県委託事業

沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン  
報告

令和5年10月～令和5年12月

## 令和5年度 がん ピア・サポーター派遣事業①

1. 名 称 令和5年度 第7回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

日 時 令和5年10月3日（火）14:00～16:05

派遣者 がん ピア・サポーター（上地 久美子）

参加者 一般参加者 5名

院内スタッフ 9名（講師・実習生3名含む）

がんとお薬とのテーマで薬剤部の國場先生に講話いただく。抗がん剤を使用している患者さんが参加し、お薬について知識を深めていた。活発に質疑応答が行われ、フリートークでも各々お薬について・治療について話あう。患者さんの疑問や不安にピアサポーターが「私もそうでした」とお話すると安堵する様子が伺える。ピアサポーターのがん体験談を語り、がんになって良かったことや辛かったことを伝えた。ピアサポーターの前向きな姿勢を見て患者さん自身が、私も頑張りたいとエネルギー溢れているように感じた。実習生もこのような機会ががん患者さんの想いを汲み取って寄り添う看護ができるのではないか。



2. 名 称 令和5年度 第8回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

日 時 令和5年11月7日(火) 14:00~16:00

派遣者 がん ピア・サポーター (上地 久美子)

参加者 一般参加者 7名

院内スタッフ 4名 (講師含む)

緩和ケアセンター狩俣さんによる「医師や看護師と話す前に準備しよう」とのテーマでコミュニケーションの取り方を講演いただいた。質疑応答では、医師との関係性について、あわせてどのように自分の意見を伝える方法がいいかなど患者同士でも意見交換があった。休憩を挟んだのち、患者サロンでは看護師に相談したい人、MSW に相談したい人、ピア・サポーターに話を聞いて欲しい人などグループを作り各グループで話し込んでおり活発に質問する様子が伺えた。



3. 名 称 令和5年度 第9回 ゆんたく会

場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室

日 時 令和5年12月7日(木) 14:00~16:00

派遣者 がん ピア・サポーター (上地 久美子)

参加者 一般参加者 7名

院内スタッフ 8名 (講師・実習生含む)

アピアラス支援モデル事業の実務者であり、看護部緩和ケアセンターがん看護専門看護師の砂川華さんによる「がん治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア」とのテーマでご講演いただいた。ハンドクリームの塗り方を体験し、実践的指導もあった。質問では、脱毛後の頭の保湿も必要か？ウィッグの使い心地は？浮腫みはどう解消するべき？など、私生活で困ったことなどの疑問が挙がった。参加者同士でのウィッグの購入先のご提案などもあり、みなさんメモをよく取り熱心に話を聞いていた。ピア・サポーターからも体験をお話でき、患者さんも外見ケアについての悩み解消に安堵した様子が伺えた。



4. 名 称 第 139 回 那覇がん患者ゆんたく会

場 所 那覇市立病院 3 階講堂

日 時 令和 5 年 11 月 16 日 (木) 14 : 00 ~ 15 : 00

派遣者 がん ピア・サポーター (中山 富美)

参加者 一般参加者 5 名

那覇市立病院 スタッフ 4 名

今回は、ピア・サポーターの担当の回とのことで、当センター相談員の中山さんが司会進行を行った。自己紹介と参加したきっかけを各々お話しゆんたく会がスタート。今回は、治療費についてと主治医とのコミュニケーションについて話題にあがる。患者さん同士での情報交換とピア・サポーターの経験を交えて話げできた。治療費やコミュニケーションについては申告で、医療者の課題も見えたように思う。いつもは講師による講演が主体となっているが、患者サロンの時間だけというのも良いと感じた。



5. 名 称 第 141 回 中部地区ゆんたく会
- 場 所 中部病院 7階レストラン
- 日 時 令和5年10月26日(木) 16:00~17:00
- 派遣者 がん ピア・サポーター (中山 富美)
- 参加者 一般参加者 7名

中部病院 スタッフ 6名

がん治療をしていると食べ物のことが気になるとの話題も良く上がるので、今回は管理栄養士さんも交えての患者サロン。みなさん自己紹介とあわせて好きな食べ物や食べ物に関わらずに好きな場所の風景など各々発表し会話を楽しんでいた。ピア・サポーターとしてみなさんの不安や悩みに寄り添い対応していただいた。ピア・サポーターまたはがん講師にて興味を示す患者さんもあり、最後は隣同士でゆんたくを楽しんでいた様子。10月の沖縄の産業まつりにてピア・サポート展をブース出展について、11月に開催を予定しているリレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 おきなわへの出展広報と11月オンラインゆんたく会の広報を行った。



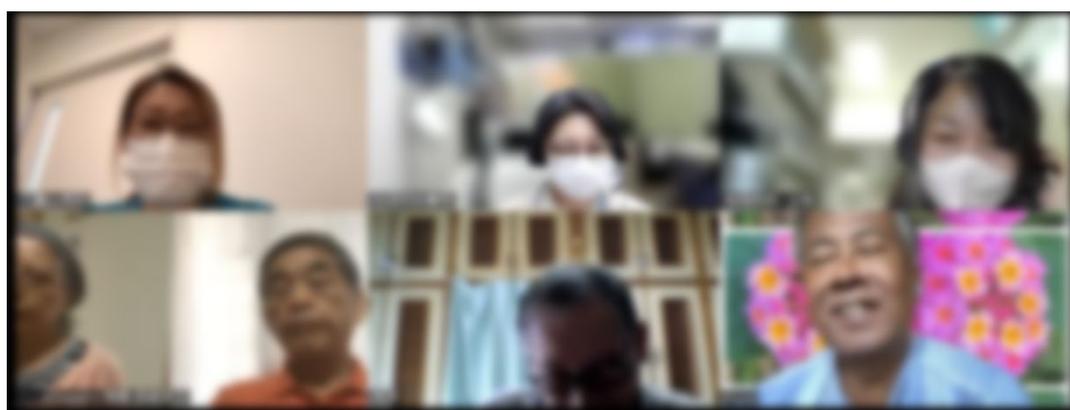
6. 名 称 第142回 中部地区ゆんたく会
- 場 所 中部病院 7階レストラン
- 日 時 令和5年11月22日(木) 16:00~17:00
- 派遣者 がん ピア・サポーター(上地 久美子)
- 参加者 一般参加者 5名  
中部病院 スタッフ 5名

自己紹介から始まり、近況報告を行った。今回は抗がん剤治療を経験したピア・サポーターが参加とのこともあり、抗がん剤治療についてお話いただく。治療中の気持ちの持ち方やどのように治療に臨んだなど、経験を聞いた参加者も、とても勇気をもらっている様子。日頃からウォーキングをしている患者さんからは、運動の大切さをみんなで理解しあった。一人ひとりの悩みや不安をピア・サポーターも交えて話すことで、より一体感と分かち合う場としてみなさんの日々辛い治療に向き合うエネルギーになるのではないかと。笑いながらも不安な気持ちを話せいい雰囲気ゆんたくしていた。



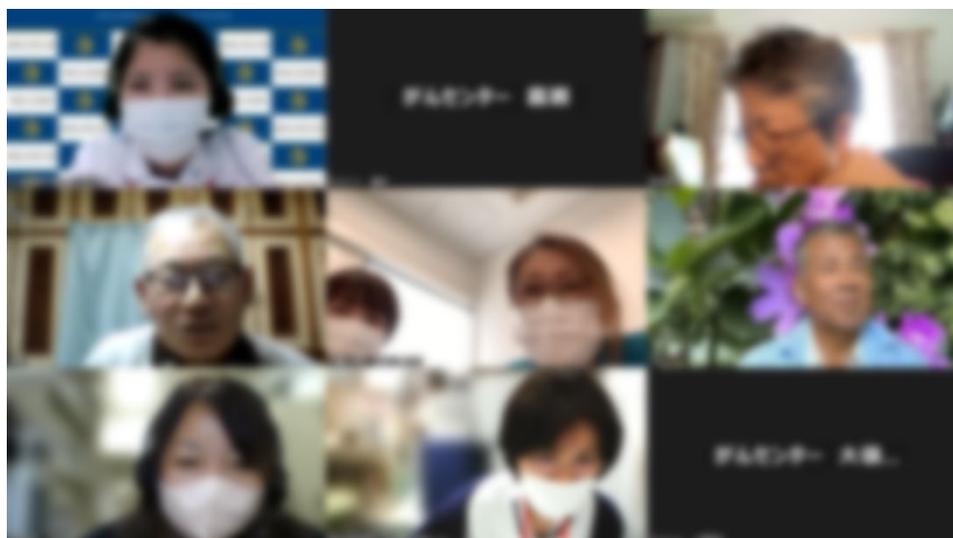
## 第7回 オンラインサロン報告書

名 称	第7回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 10月 19日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 欠席
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>いつも通り、オンラインゆんたく会での約束事を読み上げ、自己紹介から始まる。自己紹介では、病状や今気になることや不安なことも合わせてお話もあった。近況報告も兼ねて各々話をする。</p> <p>普段の何気ない日常の会話をすることで、日頃の辛い治療を忘れて時を過ごすこともリラックスし参加者さんにとって良い交流の場であると感じた。</p> <p>今回初めての参加者もいたが、ネット環境の影響か途中退席となる。</p> <p>スタッフ交え参加者のみなさんで、和気あいあいと話が弾む。</p> <p>今回は治療中での不安や悩みについて多くは話さなかったが、患者さん同士でお話もでき、毎回あっという間に1時間が過ぎていく。このように普段の何気ない話から笑い話もでき和やかな時間となった。</p> <p>次回の案内をし、終了となる。</p> <p>参加者 (患者さん 4名・ピアサポーター2名・琉大 MSW1名)</p>



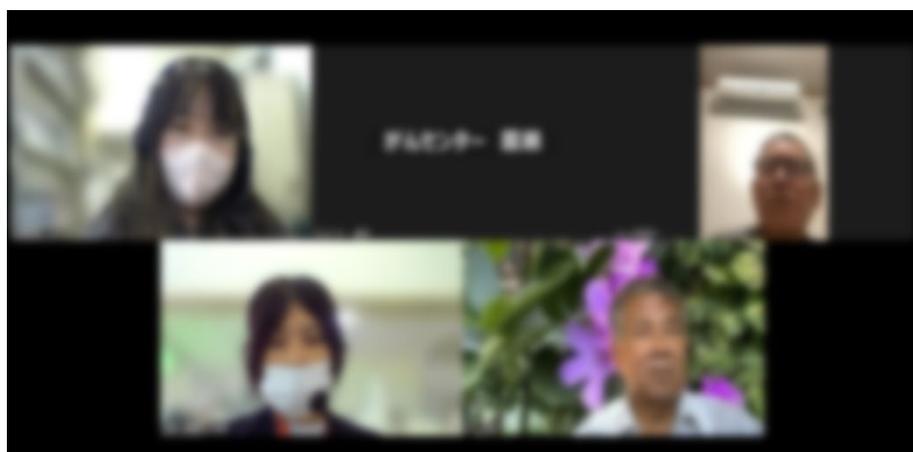
## 第8回 オンラインサロン報告書

名 称	第8回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 11月 21日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・今回は琉球大学病院看護部緩和ケアセンターがん看護専門看護師の砂川華さんより「治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア」をテーマにミニ講演会を開催。</p> <p>・質疑応答では、乳房切除した人は個室の温泉施設を案内していましたが、どのような施設ですか、家族もはいるのですか、との質問があった。沖縄県内にはそのような施設はまだ見つけられていないが、県外に行く際は事前に直接問い合わせた方がいいと案内しているとの提案があった。</p> <p>・患者サロンではいつも通りゆんたく会の約束事を読み上げ、自己紹介から始まった。</p> <p>・がんの進行に個人差はあるんですか？との質問があり、個人差はあると思うが詳しくは主治医に相談すると良いとお伝えする。毛は抜けないけど、抗がん剤で違うのかなと病状を看護師さんに質問があったが、あわせて個人差がある旨お伝えした。</p> <p>・最近の出来事では、スポーツの秋・食欲の秋とのことで話題が上がる。体力つけるためにウォーキングを習慣にしている方や、お魚のお話で趣味の話で盛り上がる。</p> <p>・爪がもろくなってきていると砂川さんに質問があった。爪先にもハンドクリームを塗って乾燥を防いだ方が良いとのことで、塗り方もお伝えしていた。</p> <p>・次回の案内をし、閉会となる。</p> <p>参加者（患者さん3名・ピアサポーター2名、講師1名、中部病院1名、八重山病院1名、事務補佐員2名）</p>



## 第9回 オンラインサロン報告書

名 称	第9回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和 5年 12月 19日 (火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・14:30より第9回オンラインゆんたく会を開催。</li> <li>・オンラインゆんたく会でのお約束事を読み上げ共通認識を図った。</li> <li>・参加者は自己紹介をし、近況報告をする。</li> <li>・趣味のお話をしている時は、明るい表情も見られ普段の治療のことを忘れてゆんたくを楽しんでいる様子。</li> <li>・家族のことや、身内のこともお話する。</li> <li>・今年最後のオンラインゆんたく会とのことで、今年の振り返りと、年末年始どのように過ごすのかなど話をしていった。</li> <li>・アウトドア派とのことでキャンプの話題が上がる。</li> <li>・知人の方ががんとなり本人ショックを受けている。ピア・サポーターの相談員の治療しているコツなどあるかなどの質問もあった。ピア・サポーターより、がん治療の以外では趣味に没頭したり、楽しいことを考えるなど前向きな思考も大切だと思う想いを伝えた。話を聞き、前向きな気持ちになったように感じた。</li> </ul> <p>15:30に次回の案内し閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様2名・ピアサポーター1名、那覇市立病院1名、事務補佐員1名)</p>



令和5年度 沖縄県委託事業

# がん ピア・サポート展 開催報告

実施日：令和5年10月27日（金）～10月19日（日）10：00～19：00  
奥武山公園 県立武道館アリーナ棟

## 開催概要

1. 名称    がんピアサポート展
2. 日時    がんピアサポート展～いつもあなたのそばに～  
令和5年10月27日（金）～10月29日（日）10：00～19：00
3. 場所    奥武山公園  県立武道館アリーナ棟  
〒900-0026  那覇市奥武山町52
4. 対象    地域住民の皆様、がん患者およびその家族、関心のある方
5. 目的    沖縄県地域統括相談支援センター普及広報  
がん患者やその家族が抱えている不安や心配ごとなどをがん体験者（ピア・サポーター）が自身の経験に基づき、同じ立場でお話したり聴いたりすることで軽減、気持ちの整理をつける場でもあることを広く展示紹介する。
6. 内容    沖縄県地域統括相談支援センター活動展
  - (1) センターの概要：活動内容、相談対応時間等の情報案内
  - (2) がん体験談など：登録サポーターによるがん体験談と養成講座を受講してのきっかけなど数点（パネル）紹介することで、来場者にイメージをもたせる
  - (3) がん情報：がんサポートハンドブック、がん患者さんのための療養場所ガイド、がん冊子、がん情報図書、事業イベント案内チラシ

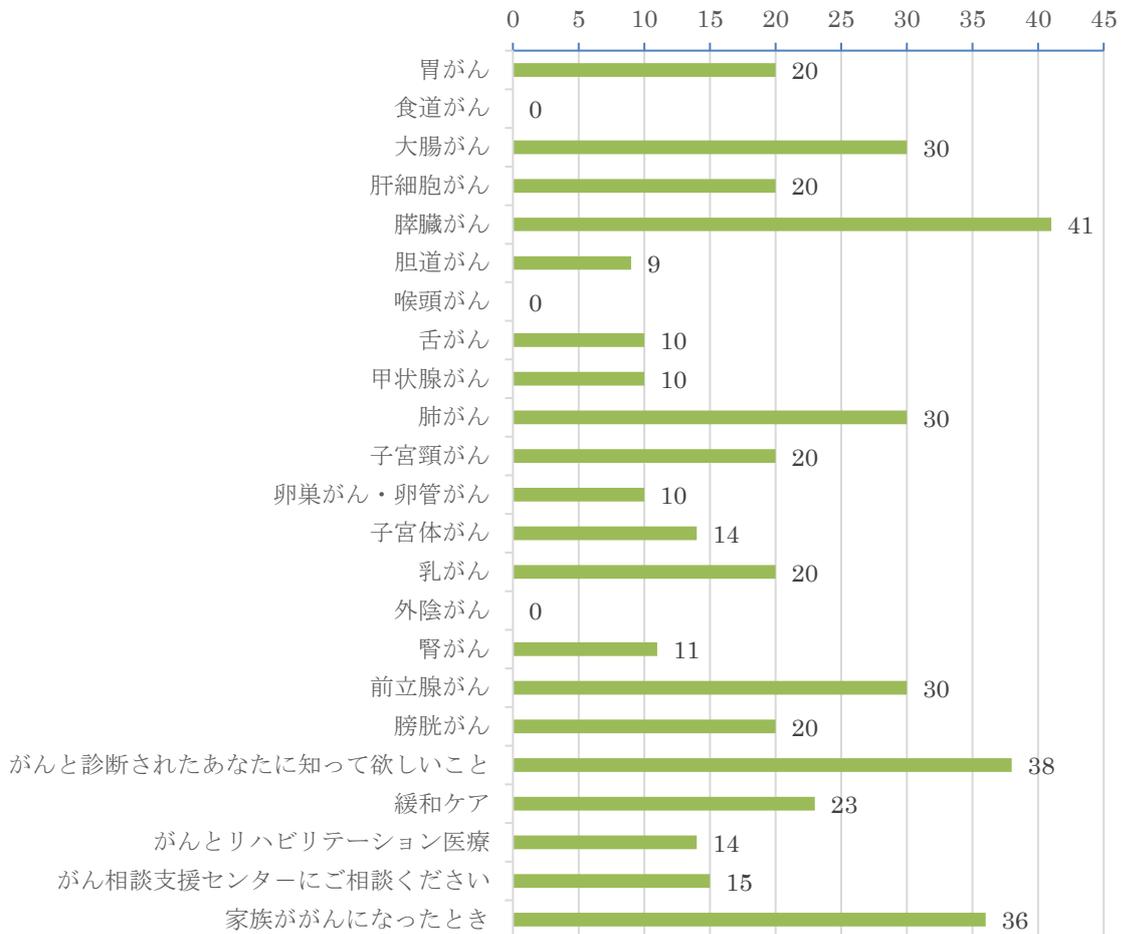
【沖縄の産業まつりに参加して】

- ・お祭りということで多くの方が来場し、がん冊子やがんサポートハンドブック等を手にし、持ち帰りいただいた。
- ・今回は相談ブースはなく、展示ということもあり、スタッフがいない時に冊子を手にしているように感じた。
- ・土曜日～日曜日の午後に多くの冊子に動きがあり、補充の仕方を念入りにスケジュールすることが必要と感じた。次回参加する機会があれば、補充日時を土曜日重点的に必要。
- ・スタッフ直接の声掛けもあり、「このような活動しているんだね」と知ってもらうこともできた。「お家にあるよ」「知人に渡したいので多めにもらいます」などの声も聞けた。

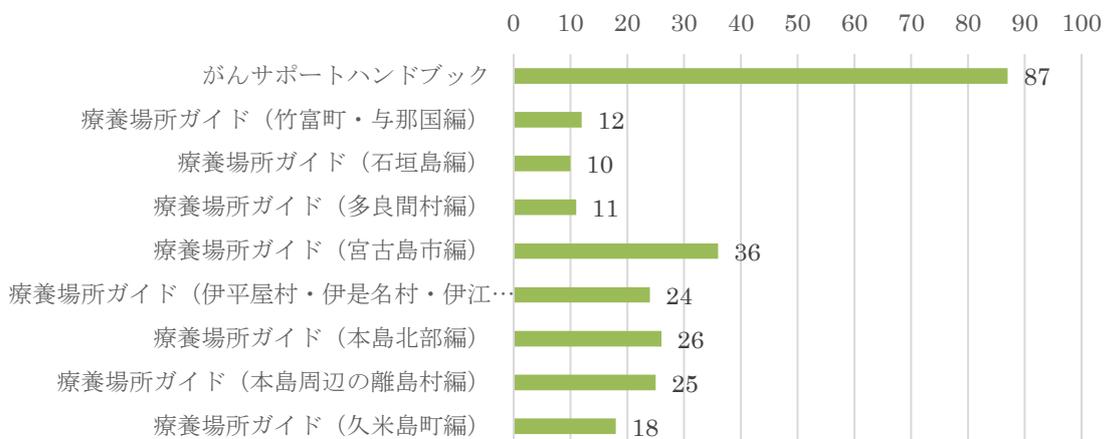


▲沖縄の産業まつり

## がん冊子配布数



## がんサポートハンドブック等配布数



令和5年度 沖縄県委託事業

がんピアサロン  
(リレー・フォー・ライフ 2023 おきなわ)

開催報告

実施日：令和5年11月11日（土）15：30～18：05

## 【名 称】

がんピアサロン

## 【目 的】

参加者同士が語り合うことで不安や気持ちを分かち合い、情報を交換しながら病気に対する不安軽減につなげる。

特に話すことがなく情報を求めている人にも、ピアサポーターのがん体験談を聞いたり、がんに関する資料等を得られるよう情報コーナーを設置し提供する。同時にパネル展示も行い沖縄県地域統括相談支援センターに関する情報も提供し、支援体制の周知と相談室の利用率向上を図る。

また対応経験を重ねることによりピアサポーターの資質を高める。

## 【概 要】

1. 日 時 令和5年11月11日（土） 15：30～18：05
2. 場 所 浦添市てだこ広場（リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023 おきなわ）
3. 対 象 がん患者、家族、遺族、医療関係者および関心のある方
4. 参加費 サバイバー：無料  
その他：リレー・フォー・ライフ・ジャパンへの参加費 1,000 円

【スタッフ名簿】

氏名	所属	役割
菅 弘実	資生堂ジャパン(株) ソーシャルエリアパートナー	講師
柳 和江	資生堂ジャパン(株) ソーシャルエリアパートナー	補助スタッフ
高山 輝美	資生堂ジャパン(株) ソーシャルエリアリーダー	補助スタッフ
天野 慎介	全国がん患者会連合会/グループ・ネクサス・ジャパン 理事長	ファシリテーター
砂川 華	琉球大学病院 看護部 緩和ケアセンター がん看護専門看護師	講師 助言指導
増田 昌人	沖縄県地域統括相談支援センター長	責任者
仲田 ひろ子	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	助言指導
中山 富美	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	助言指導
西村 克敏	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	助言指導
上地 久美子	沖縄県地域統括相談支援センター相談員	助言指導
比嘉 優花	琉球大学病院がんセンター事務	スタッフ
仲嶺 真希	琉球大学病院がんセンター事務	スタッフ
喜瀬 杏妃	琉球大学病院がんセンター事務	スタッフ

時間	所要時間	プログラム	担当者	備考
14:00～15:30	90分	会場準備・設営	がんセンタースタッフ	雨天のため ブース移動あり
15:30～16:00	30分	開会式	RFL実行委員会	化粧品準備
16:00～16:30	50分	がん患者さんのお悩みに役立つ 「資生堂 ライフクオリティメイクアップ」 ～誰もが自由にビューティーを楽しむために～	資生堂ジャパン(株) <b>菅 弘実さん</b> <b>柳 和江さん</b> <b>高山 輝美さん</b>	
16:30～16:40	10分	休憩		化粧品片付け
16:40～17:00	20分	がん治療中でも自分らしく 過ごすための外見ケア	琉球大学病院 看護部 がん看護専門看護師 <b>砂川 華さん</b>	
17:00～17:10	10分	休憩		テーブル設営
17:10～18:10	60分	患者サロン (ゆんたく会)	全国がん患者団体連合会 グループ・ネクサス・ジャパン 理事長 <b>天野 慎介さん</b> 琉球大学病院 看護部 がん看護専門看護師 <b>砂川 華さん</b> 沖縄県地域統括相談支援センター がん ピア・サポーター <b>仲田 ひろ子</b> <b>中山 富美</b> <b>西村 克敏</b> <b>上地 久美子</b>	西村克敏さん 17:10～17:40 (30分)のみ参加 (実行委員会プログラムの サックス演奏準備のため)
18:10～19:00	50分	会場片付け	がんセンタースタッフ	

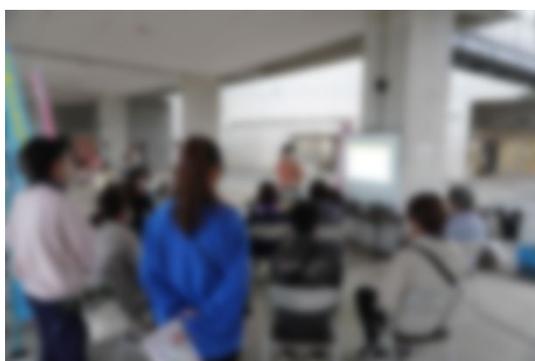
### 【参加者】

- (1) 7名 がん患者さんのお悩みに役立つ「資生堂 ライフクオリティー メイクアップ」  
～誰もが自由にビューティーを楽しむために～
- (2) 11名 がん治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア
- (3) 5名 患者サロン（ゆんたく会）  
\*健康状態申告書に記入いただいた人数の合計。立ち見の観客はカウントなし。

### 【振り返り】

- ・RFLは規模縮小により1/2テントの借用。1/2とのことで、とても狭く最低でも1テントが必要と感じる。
- ・当日は生憎の雨により、準備等が難航していたが、RFL実行委員会より、ピロティへの移動許可ができ、ブース全てをピロティへ移動して開催。
- ・テントの位置がステージの対局だったので参加者が来るか不安だったが、ピロティではステージ前にブース設置ができ、多くの方に参加いただけた。
- ・司会にインフォメーションを都度してもらい、合わせて直接来場者、他患者会へ声掛けをしたのはとても良かった。
- ・RFLでは、開会式でみんなで行進があるので、布横断幕は必須。今回は登りを代用して使用した。
- ・雨の影響により、開始予定時間より30分遅れる見込みだったため、プログラムを急遽変更し、(1)資生堂さんに講演いただいた後、(2)砂川さんによる講演、(3)天野さん進行による患者サロン開催となった。
- ・2つの講演の際は、始まると人が集まり、立ち見客もいた。
- ・患者サロンでは、マイクを使わないことから、少人数で円になり開催。風も強く声が聞きづらい場面もあったが、みなさんで身体を寄り添ってお話できたのではないかな。屋外ではあるが、みなさんのご協力もありマスク着用で感染対策もしっかりと行うことができた。
- ・テーブルや椅子に限りがあったため、情報コーナーではがん冊子等は設置できず。チラシががんサポートハンドブック・資生堂さんのサンプルのみの情報提供となった。
- ・当日は寒さもあったため、防寒具の準備の呼びかけもチラシに記載すると良いと感じた。
- ・大きなトラブルなく無事終了。今回はアピアランスをテーマにしたが、患者さんや患者会・医療者にとって興味関心が高まっている様子。多くの方に参加いただけ良かった。

【当日の様子】



そのお悩み  
一緒に考えていきませんか。



がん治療をしても  
自分らしく過ごすためには？  
がん治療を  
不安や悩みは  
ありませんか？

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2023おきなわ

## がんピア・サロン @浦添市 てたこ広場

2023年11月11日(土) 15:30-18:00

リレー・フォー・  
ライフとは？

地域全体でがん向き合い、がん征伐を目指す、年間を通じて  
取り組むチャリティ活動です。(RFL-30-302023)

### プログラム

参加無料 ※ただし、RFL-01-01の付録は、  
申込不要 RFLへの参加料(1,000円)が必要です。

- 15:30~ **がん治療中でも自分らしく過ごすための外見ケア**  
琉球大学病院 がん看護専門看護師 砂川 華さん
- 16:10~ **がん患者さんのお悩みに役立つ「資生堂 ライフライナーメイクアップ」  
-誰もが自由にビューティーを楽しむために-**  
資生堂アガツク(株) 菅 弘実さん/柳 和江さん/高山 輝実さん
- 17:10~ **患者サロン(ゆんたく会)**  
一般社団法人 全国がん患者団体連合会 理事長 天野 慎介さん  
沖縄県地域統括相談支援センター がんピア・サロンが参加

沖縄県地域統括相談支援センター  
〒905-0215 沖縄県浦添市上原207番地  
琉球大学病院 がんセンター内

お問い合わせ  
TEL : (098) 942-3407



\*リレー・フォー・ライフ・ジャパンについては、RFL事務局へお問い合わせください。

沖縄県地域統括相談支援センター  
事業評価会議  
開催報告

令和5年度

第3回 沖縄県地域統括相談支援センター事業評価会議

日時 令和5年11月10日(木) 9:00~10:00  
場所 がんセンター  
出席者 天野 慎介さん (一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン 理事長)  
増田 昌人 (沖縄県地域統括相談支援センター がんセンター長)  
大嶺 真希 (琉球大学病院がんセンター 事務補佐員)  
喜瀬 杏妃 (沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員)

【議題】

1. アピアランス支援モデル事業 (資料 1)
2. 「沖縄県がん患者会連合会」との連携について (資料 2)
3. ピア・サポーターの活動強化について (資料 3)
4. オンライン相談について (資料 4)
5. 沖縄県地域統括相談支援センター ホームページについて (資料 5)
6. がんピア・サポーター養成講座について (資料 6)
7. その他

【報告】

1. 令和5年度 第2回 事業評価会議 議事要旨 (資料 7)
2. センター事業計画 (資料 8)
3. 相談件数統計 (資料 9)
4. 出張ピア・サポート (資料 10)
5. がん ピア・サポート展 (資料 11)
6. ラジオ広報 (資料 12)
7. その他

## 【報告・協議事項】

### 1. アピアランス支援モデル事業

アピアランス支援モデル事業に置いて、今年度の単年事業とのことでクラウドファンディングを募ることも良いとのご意見をいただく。今後の県の動向も見つつ、今年度のアピアランス支援事業を次年度どう行っていくか考えていく必要がある。

オンライン講座について藤間先生とオンライン会議を行った際に情報提供としていただいた資料に関しては、資料の許諾をいただいた上で研修を受けた実務者中心に事業を進めていくと良いとお話があった。

YouTubeについても動画アップした方が良いとお話がある。サムネイルを工夫して、SNSの準備は進めていただいた方が良いとのこと。

### 2. 「沖縄県がん患者団体連絡会（仮）」について

令和5年度8月の協議会で発表があったがん患者団体連絡会については、まだ活動は出来ていない状況を受け、当センターとして設立支援をしているとのことで、定期的に連絡した方が良いとご意見をいただく。リレー・フォー・ライフ開催後に活動していくことを目標にしているとのことで、当センターとしてお手伝いできることはないか連絡を取ることにする。

### 3. がん患者会意見交換会について

国の計画として、がん患者会を支援すると記載があるため、県としても活動支援をした方が良くと思うとのことで可能であれば意見交換会に県の職員にも声かけする運びとなる。

### 4. ピア・サポーターの活動強化について

今年度拠点病院3か所に出向き出張ピアサポートを行った内容について、始めたばかりは参加者が少ないことをよくあることで、継続的に進めて定例化していくと参加者も増えていくのではとのこと。野田さんにもアドバイスいただきながら次年度も引き続き進めていくほうが良いと意見をいただく。

### 5. 石川県訪問について

石川県に行くなら、元ちゃんハウスさんに訪問した方が良くご紹介いただいた。都合が良ければ訪問できるように調整することとする。

### 6. 報告事項

令和5年度第2回事業評価会議議事要旨およびその他報告事項は時間の兼ね合いで書面報告とした。